



出水高校だより

第十四号 令和三年九月十四日

コロナを乗り越えて

第七十四回体育祭

九月十日(金)、秋晴れの空のもと、第七十四回体育祭が実施されました。感染予防のため無観客での開催となりましたが、一所懸命に競技に臨む生徒の姿が見られました。



ボールを落とさないで(障害物競走)



新種目：NAGA-NAWA

女子徒競走(百M)では、三年生の伊原こころさんが十三秒十二のタイムで走り、新記録を樹立しました。
さらに、新種目の「NAGA-NAWA(長縄)」では、一年二組が連続九十六回を跳び、こちらも新記録として表彰されました。



力を振り絞って

体育祭のようは、ライブ動画で配信されました。テント前では、担当になっている生徒たちが一心にカメラを操作していました。



ライブ動画配信中



3年生優勝!

得点集計の結果、今年度の優勝は赤軍(三年生)が勝ち取りました。表彰式では、三年生競技委員長の龍本士さんと遠矢楓さんが優勝旗を受け取りました。

お話を聴かせてください

今回の体育祭の実行委員長を務めたのは、生徒会体育委員長の先崎汐音さん(二年生)です。体育祭真っ只中の忙しい時に、無理を言っ

今回の体育祭は様々な困難を乗り越えて開催されました。それだけに、一人ひとりの心に、いつまでも素敵な思い出として残ることでしょう。皆さん、本当にお疲れ様でした。

ご厚志を賜りました
体育祭開催に際し、「出水高校元卒会」様からご厚志をいただきました。ありがとうございます。

ーにに応じてくれました。
また、体育祭に対する思いについて、「保護者の方に観てもらえないのは残念だけれど、今は皆が安全に体育祭を終えることが何より大切だと思っています」と笑顔で話してくれました。



先崎汐音さん

て話を聴きました。
先崎さんは「コロナ禍の困難な中、皆さんが積極的に協力してくれて、スムーズに準備を進めることができました。とても感謝しています」と快くインタビュー